

佐渡島 (新潟県佐渡市)

島内電子通貨を活用した地域循環共生圏プロジェクト

島の課題

- 電子決済への非対応等によるマーケティングデータの活用不足による経済的損失。
- タクシードライバーの高齢化等による地域交通維持への懸念。
⇒ デジタル化やデータ活用による各種サービスの維持・向上が必要



調査体制

佐渡スマートアイランド推進協議会

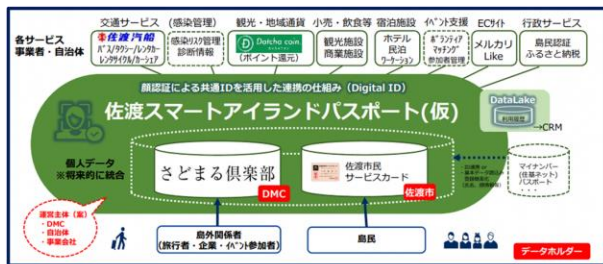
- 佐渡市(代表団体)
- 株式会社ポケットチェンジ
- 一般社団法人佐渡観光交流機構
- 株式会社電腦交通
- 新潟交通佐渡株式会社
- 一般社団法人地域人財基盤

主な取組概要

- モニターによる電子地域通貨アプリの試行的利用
- 購買・行動データを分析し、地域循環経済の推進に対する有効性の検証
- タクシーのクラウド型配車・予約システムの実証運行を行い、需供バランスや業務効率化を検証

目指す姿・期待する効果

- 電子地域通貨を活用した購買行動のデータ化等により、地域経済の活性化と行政サービスの向上
観光客向け会員組織と佐渡市民サービスカード、市内の店舗で利用可能な電子地域通貨を連結し、島民及び観光客の購買行動データの収集・分析を行い、島内消費の拡大や、ニーズ把握による新商品の開発等につなげ、地域循環経済を促進するとともに、行政サービスの利便性を向上させ、定住促進につなげる。



- タクシー交通の効率化とコスト削減による交通サービスの維持
住民及び観光客によるタクシー利用の効率化とコスト削減を目的に、複数のタクシー事業者が連携してクラウド型配車システムを活用し、利便性の向上や業務効率化の促進を行う。

佐久島 (愛知県西尾市)

電気自動車と自動運転パワースクーターを活用した島内移動システム構築

島の課題

- 公共交通がない島内において、現状約50%の高齢化率であり、今後さらに移動弱者の増加が見込まれる。
- エネルギー資源を外部に依存しており、災害時の供給不安やガソリン貯蔵タンクの維持更新コストの負担が大きい。
⇒ 高齢者が自力で安全に外出できる移動手段が必要。エネルギーの地産地消と安定した供給が可能な仕組みが必要。



調査体制

佐久島スマートアイランド協議会

- (一社)地域問題研究所
- 西尾市
- AZAPAエンジニアリング株式会社
- 島を美しく作る会

主な取組概要

- 高齢者によるパワースクーター試行運転により、自動運転や安全機能等を検証
- ソーラーパネルで発電した電気でEV軽自動車を運行し、エネルギー自給自足に向けた基礎データを収集
- パワースクーターで走行可能な道路条件や、島内の自動車のエネルギーを自給するために必要なソーラーパネルの量、設置可能な場所等を調査

目指す姿・期待する効果

- 高齢化や人口減少が進み、地形的条件による制約がある離島において、免許返納後も安心して移動できる手段を確保
高齢者の移動手段として、免許返納後でも利用ができ、かつ道幅の狭い島内道路を走行可能なパワースクーターによる、安心安全かつ自立的な移動モビリティの確保を目指す。



- 島内消費エネルギーの地産地消に向け、太陽光発電の可能性を検証
太陽光発電による電力で島内自動車のエネルギーを賄う脱ガソリン化と、家庭用電源への活用も視野に入れた、「ゼロカーボンモデル」の可能性を検証する。

